



2025年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月10日

上場会社名 株式会社 日宣
コード番号 6543 URL <https://www.nissenad.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大津 裕司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営マネジメント本部長 (氏名) 佐藤 純
四半期報告書提出予定日 2024年7月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03(5209)7222

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績(2024年3月1日～2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	1,463	20.6	117	216.3	119	777.2	81	457.1
2024年2月期第1四半期	1,213	6.2	37	58.1	13	84.6	14	75.8

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 81百万円 (453.6%) 2024年2月期第1四半期 14百万円 (75.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	21.57	21.35
2024年2月期第1四半期	3.90	3.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	4,605	3,252	70.6
2024年2月期	4,574	3,279	71.7

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 3,252百万円 2024年2月期 3,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		26.00	26.00
2025年2月期					
2025年2月期(予想)		0.00		27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,700	7.9	140	72.0	130	80.1	89	66.5	23.49
通期	6,000	14.8	320	6.6	315	10.4	215	8.9	56.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年2月期1Q	4,070,080 株	2024年2月期	4,070,080 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2025年2月期1Q	281,308 株	2024年2月期	281,308 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年2月期1Q	3,788,772 株	2024年2月期1Q	3,760,812 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループにおいて判断したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、経済活動の正常化が進み、サービス需要やインバウンド需要が高まるなど、緩やかな景気回復がみられました。一方、地政学的リスクの長期化に伴う物価上昇、供給面での制約や金融市場の変動など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する広告業界におきましては、2023年の総広告費が7兆3,167億円（前年比103.0%）と前年を上回る結果となり（電通「日本の広告費」2024年2月発表）、引き続き景気回復の兆候が見受けられました。

こうした市場環境の中、当社グループでは中期経営計画に基づき、既存事業の強化と新規事業領域への事業拡大に向け、積極的な事業活動を行ってまいりました。

企業とつながる生活者を「ブランドコミュニティ」と捉え、企業のマーケティングコミュニケーションや市場開発を支援していくコミュニケーションビジネス分野においては、SNSを活用した独自のマーケティング手法をはじめとするノウハウを蓄積し、ソリューションの提供に努めております。また、さらなる事業拡大のため、新規顧客獲得に向けた営業に注力しております。

地方に暮らす世帯を「ローカルコミュニティ」と捉え、そこを起点にしながら、さまざまなプレイヤーとの連携・連帯によって、生活者向けサービスや企業向けマーケティングソリューションを生み出していく、エリアビジネス分野においては、全国のケーブルテレビ局向けに編集・制作している加入者向けテレビ番組情報誌「チャンネルガイド」の販売が好調で、売上を伸ばしています。さらに、デジタル化等の時代の変化に対応するため、SNSを活用した新たなデジタルサービスの提供を開始しております。

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,463,552千円（前年同期比20.6%増）、営業利益117,548千円（同216.3%増）、経常利益119,775千円（同777.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益81,728千円（同457.1%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における、セグメント毎の経営成績は次のとおりであります。

① 広告宣伝事業

当事業においては、全国のケーブルテレビ局向けに加入者向けテレビ番組情報誌「チャンネルガイド」の編集・制作を行う他、様々なクライアント企業に対し広告戦略のプランニング、各種販促サービス、デジタルマーケティング等のソリューションを提供しております。また、自社メディアによってつながる共通の価値観や嗜好性をもった生活者および企業群を「ライフスタイルコミュニティ」と捉え、ホームセンターやドラッグストア向けのフリーペーパーの発行を行っております。

当第1四半期連結累計期間では、地域社会のインフラ事業とも言える全国のケーブルテレビ局に向けた「チャンネルガイド」が堅調に推移した他、住まい・暮らし業界においては、会員限定サイトのコンテンツ制作など、クライアントのニーズに対応したプロモーション支援、その他業界につきましても、大手外食チェーン向けにマーケティング支援を行うなど、それぞれのクライアントが持つ課題に対して幅広いソリューションを提供しました。

以上の結果、当事業の売上高は1,420,633千円（前年同期比21.1%増）、セグメント利益は112,160千円（同198.0%増）となりました。

また、業界別の売上高の動向としましては、放送・通信業界が646,949千円（前年同期比19.5%増）、住まい・暮らし業界が416,016千円（同22.0%増）、医療・健康業界が48,586千円（同30.0%減）、その他業界が309,081千円（同39.7%増）となりました。

② その他

その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の子会社の株式会社日宣印刷において当社グループの広告宣伝事業の印刷物の他、関西地域の企業に対して商業印刷を行っております。

以上の結果、当事業の売上高は42,918千円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益は4,158千円（前年同期はセグメント損失1,556千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より31,199千円増加し、4,605,324千円となりました。これは主に現金及び預金が19,081千円、売掛金が80,150千円、投資有価証券が15,334千円それぞれ増加した一方で、受取手形が52,891千円、営業権が17,043千円、その他の流動資産が14,484千円それぞれ減少したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より57,674千円増加し、1,352,391千円となりました。これは主に、買掛金が39,768千円、退職給付に係る負債が9,437千円増加するとともに賞与引当金を35,854千円計上した一方で、長期借入金が26,850千円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より26,475千円減少し、3,252,933千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を81,728千円計上した一方で、配当により利益剰余金が98,508千円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想については、2024年4月12日に公表いたしました予想から変更ありません。なお、業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,486,461	1,505,542
受取手形	70,920	18,028
売掛金	504,506	584,657
製品及び仕掛品	70,109	76,265
原材料及び貯蔵品	12,197	12,809
その他	35,707	21,223
貸倒引当金	△1,155	△889
流動資産合計	2,178,747	2,217,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	705,796	699,001
機械装置及び運搬具(純額)	14,017	12,791
土地	937,212	937,212
その他(純額)	7,356	9,972
有形固定資産合計	1,664,383	1,658,977
無形固定資産		
営業権	272,688	255,645
その他	25,293	23,798
無形固定資産合計	297,981	279,443
投資その他の資産		
投資有価証券	363,922	379,256
繰延税金資産	3,364	3,828
その他	65,726	66,181
投資その他の資産合計	433,012	449,266
固定資産合計	2,395,377	2,387,687
資産合計	4,574,125	4,605,324
負債の部		
流動負債		
買掛金	364,227	403,996
1年内返済予定の長期借入金	59,400	59,400
未払法人税等	56,289	55,022
賞与引当金	—	35,854
その他	167,119	180,908
流動負債合計	647,036	735,182
固定負債		
長期借入金	293,650	266,800
繰延税金負債	60,009	48,683
退職給付に係る負債	128,304	137,742
長期未払金	165,715	163,982
固定負債合計	647,679	617,208
負債合計	1,294,716	1,352,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	347,103	347,103
資本剰余金	303,103	303,103
利益剰余金	2,805,498	2,779,089
自己株式	△177,015	△177,015
株主資本合計	3,278,689	3,252,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	719	652
その他の包括利益累計額合計	719	652
純資産合計	3,279,409	3,252,933
負債純資産合計	4,574,125	4,605,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	1,213,423	1,463,552
売上原価	931,165	1,098,663
売上総利益	282,258	364,888
販売費及び一般管理費	245,097	247,340
営業利益	37,160	117,548
営業外収益		
受取利息	1	8
補助金収入	500	—
投資事業組合運用益	—	2,694
その他	665	823
営業外収益合計	1,166	3,526
営業外費用		
支払利息	876	871
持分法による投資損失	137	134
投資事業組合運用損	23,559	—
その他	98	292
営業外費用合計	24,672	1,298
経常利益	13,654	119,775
税金等調整前四半期純利益	13,654	119,775
法人税、住民税及び事業税	11,325	49,807
法人税等調整額	△12,340	△11,760
法人税等合計	△1,015	38,047
四半期純利益	14,669	81,728
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,669	81,728

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	14,669	81,728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82	△66
その他の包括利益合計	82	△66
四半期包括利益	14,751	81,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,751	81,661
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間において、ホームタウンエナジー株式会社が実施する当社を割当先とする第三者割当増資を引き受け、当社の持分比率が増加したため、同社を持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	広告宣伝事業				
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,175,250	63,661	1,238,912	△25,488	1,213,423
外部顧客への売上高	1,172,685	40,737	1,213,423	—	1,213,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,565	22,923	25,488	△25,488	—
計	1,175,250	63,661	1,238,912	△25,488	1,213,423
セグメント利益又は損失 (△)	37,637	△1,556	36,080	1,080	37,160

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年3月1日至2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	広告宣伝事業				
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,420,633	71,875	1,492,509	△28,956	1,463,552
外部顧客への売上高	1,420,633	42,918	1,463,552	—	1,463,552
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	28,956	28,956	△28,956	—
計	1,420,633	71,875	1,492,509	△28,956	1,463,552
セグメント利益	112,160	4,158	116,318	1,230	117,548

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業活動を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。